



シゴト発見フェスタ&インターンシップフェア 大盛況！！



【プラス丸】

7月1日(日)、『大学等による「おおいた創生」推進協議会』における県内就職率向上部会の事業として、**シゴト発見フェスタ&インターンシップフェア**を大分大学で開催しました。シゴト発見フェスタには、55職種の企業と345名の学生、インターンシップフェアには29社の企業と208名の学生が参加し、働く魅力について語り合いました。

第1部

シゴト発見フェスタ

事前に職業適性検査を受け、自分に向いている職種について知ります。
そして、自分が興味のある職種と、適性検査の結果に基づいた職種の企業ブースをまわりました。

第2部

インターンシップフェア

学生の夏休み期間中にインターンシップの受け入れを行う企業が集まり、どんな職業体験ができるのか説明してくれました。

企業の方からのご意見・・・



○多くの学生に参加いただき、仕事への興味度や将来の話聞くことができ、こちらのアピールもでき、貴重な体験でした。
○学生の皆さんがメモを取りながら一生懸命話を聞いてくれるので、あっという間でした。
○大学3年生だけでなく、1・2年生の参加も多くみられ、意識の高い学生が多いことは良いことだと思います。
○インターンシップの重要度が企業から見ても高まっていることから、このように学生と出会える場は貴重だと思っておりますし、今後力を入れていきたいと思っています。

学生からの声・・・



○説明会に参加しなければ固定されたイメージだけで終わっていたと思います。説明を聞くと「こんなこともしていたのか」と知らないことが多々あり、とても有意義な時間でした。
○気になっている業種をより知ることができ、働きたいという思いが強くなった。
○あまり適正ではないと診断された業種でも、話を聞くと印象が変わった。
○参加したブースの方々は、皆、大変楽しそうにお話をしており、職場の様子がよく伝わった。
○自己適性テストをすることで、自分では見えていなかった性格を知ることができ、自己理解へとつながった。
○詳しいインターンシップの日程や内容を決めて話して下さるところが多かったので、想像することができ、興味を持つことができた。
○3年生でなくても参加できるシステムは大変良いと思った。
○大分県に就職することは考えていなかったが、今回の話を聞いて大分に就職することも考える良い機会になった。
○直接企業の方と話すことで、なんとなくではあるが、会社の雰囲気まで感じ取ることができた。

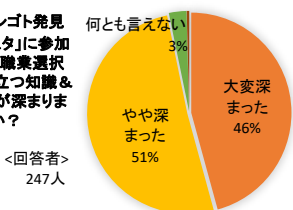
大学別参加者数

単位:人

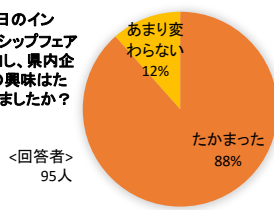
大学名	シゴト発見フェスタ	インターンシップフェア
大分大学	127	103
日本文理大学	120	59
別府大学	50	19
芸術文化短期大学	46	25
立命館アジア太平洋大学	2	2
合計	345	208
(昨年)	254	167
昨年比	136%	125%

学生へのアンケート結果

Q:「シゴト発見フェスタ」に参加して、職業選択に役立つ知識&理解が深まりましたか？



Q:本日のインターンシップフェアに参加し、県内企業への興味はたかまりましたか？



~それぞれの仕事をイメージしながら、真剣に話を聞く学生達~



平成30年度地方創生大学等連携プロジェクト支援事業(県委託事業)

大学等の持つ研究開発能力や学生の活力を地域社会と連携させることにより、地域の活性化・地域人材のレベルアップ・若者の地域との連携及びそれによる地域定着を推進するため、大分県から受託し2種類の支援事業を実施します。

①地域連携課題解決型支援事業(「学生による地域ブラッシュアップ」プログラム2018)

②サテライトキャンパスおおいた支援事業(「おおいたプロモーション」プログラム2018)

総額5,715,000円

今年度は、①19件、②11件の事業を実施することになりました。この内、大分大学で実施する事業は以下のとおりです。なお、他大学の実施事業等については、HP: <http://bundaicoc.org/wp-content/uploads/2018/07/H30kenitakujigyousaitakukekka.pdf> (『大学等による「おおいた創生」推進協議会』のHP) に掲載されています。

「学生による地域ブラッシュアップ」プログラム2018

No.	事業名	申請者
1	「きたく部(仮)」	教育学部 講師 清水 良彦
2	「紫を巡る文化と科学 ～紫根と貝紫～」	教育学部 准教授 都甲 由紀子
3	大分県内における観光・交流人口・地域公共交通の活性化をめざした産学官および高大連携による地域活性化支援プロジェクト	経済学部 准教授 大井 尚司
4	おおいた応援Music(CD)を制作し、Promotion Video(PV)を配信する	経済学部 准教授 矢野 英子
5	大分県における「中国料理」(飲食店)の実態に関する調査	経済学部 教授 包 聯群
6	大分観光バーチャル体験プロジェクト2018	理工学部 教授 古家 賢一
7	地域連携による情報通信技術の農業分野への応用	理工学部 准教授 大竹 哲史

【昨年の採択事業の様子】



教育学部: 都甲先生
紫根染交流会で染色中

「おおいたプロモーション」プログラム2018

No.	事業名	申請者
1	大分で採れる天然染料をめぐる文化と科学 ～学習教材・観光資源としての「おおいたの色」～	教育学部 准教授 都甲 由紀子



理工学部: 氏家先生
香りの魅力と体験
*アロマゲル作製体験



医学部: 椛島先生
判田の高齢者サロンに参加し、健康教育を実施



理工学部: 古賀先生
大分観光バーチャル体験コンテンツの作業風景

8月1日(水) “FD研修会 鹿児島大学における「地域人材育成プラットフォーム」の展望” 実施

鹿児島大学のCOC+事業において、プログラム専門科目と共通教育科目、学部専門科目から構成されるプログラム「地域人材育成プラットフォーム」を開設し、この取組を担っている「総合教育機構」の設置等を行い、地域志向教育の実務的リーダーとして活躍されている出口英樹准教授をお招きし、プログラムの内容と教育活動の方向性についてご紹介いただきました。

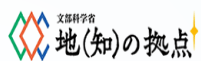
講演: 鹿児島大学のCOC/COC+事業「地域人材育成プラットフォーム」の展望

座談会: 「地域人材育成プラットフォーム」の構想から運営までの課題について

県内の他大学の先生方の出席もいただき、41名の参加がありました。地域人材育成の企画、実行、発展の具体的内容がわかり、大変参考になったとのご意見をいただきました。



【講演の様子】



国立大学法人
大分大学
OITA UNIVERSITY

「オールおおいたで創る『地方創生』ポータル」<<http://bundaicoc.org/>>

大学等による「おおいた創生」推進協議会事務局

大分大学COC+推進機構

TEL: 097-554-7913・7980 FAX: 097-554-6177 E-mail: cocsuishin@oita-u.ac.jp

